

令和4年度事業報告

(自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

令和4年度 事業報告

公益法人移行後、10年が経過し、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的でより充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

事業活動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、細菌検査及び検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

(1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を配置して食鳥検査を行っている。

＜4年度 実績＞

(ア) 検査員の配置実績（6処理場合計） 常勤 12人 非常勤 9人

(イ) 食鳥検査羽数の実績 15,343,021羽

(ウ) 検査結果（処分の状況 6処理場合計）

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合 計
85,368 (0.56%)	104,254 (0.68%)	207,409 (1.35%)	397,031 (2.59%)

(2) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、伝達講習を行い技術の研鑽に努めている。

なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

＜4年度 実績＞

年月日	講 演 内 容	講 師
4.9.12	鳥インフルエンザの発生状況とその対策	愛知県中央家畜保健衛生所 課長補佐 兼子 明美
5.1.15	名古屋コーチンの改良と試験研究の取組状況	愛知県農業総合試験場 畜産研究部 養鶏研究室 主任研究員 中村 明弘

公2 獣医学術、獣医療の専門知識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

＜4年度 実績＞

*臨床部会第1回小動物学術セミナー

日 時：令和4年9月11日

形 式：オンラインセミナー

演 題：「動画で解説 てんかん発作とその鑑別」

講 師：長谷川 大輔 先生（日本獣医生命科学大学 教授）

演 題：「臨床に役立てよう！抗てんかん薬の血中濃度モニタリング」

講 師：折戸 謙介先生（麻布大学 教授）

参加人数：会員47名、非会員28名 合計75名

*臨床部会第2回小動物学術セミナー

日 時：令和4年11月13日

形 式：オンラインセミナー

演 題：「犬アトピー性皮膚炎の診断と長期管理」

講 師：田口 範人 先生（アジア獣医皮膚科専門医レジデント（榊VDT）

参加人数：会員 64 名、非会員 74 名 合計 138 名

＊公衆衛生部会学術セミナー

日 時：令和 5 年 3 月 10 日

会 場：愛知県自治センター 6 階第 602 会議室

演 題：食品から感染する寄生虫～アニサキスの話題を中心に～

講 師：坂西 梓里 先生（麻布大学生命・環境科学部 特任助教）

参加人数：会員 21 名、非会員 14 名 合計 35 名

＊令和 4 年度 第 60 回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：令和 5 年 3 月 5 日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10 階 1007 号室

発表演題数：9 題（産業動物：0 題、小動物：6 題、公衆衛生：3 題）

【特別講演】（小動物の部）

演 題：犬の攻撃行動から、飼い主の心を救うために。

講 師：奥田 順之 先生（ぎふ動物行動クリニック 院長）

参加人数：会員 29 名、非会員 0 名 合計 29 名

（2）学会発表推進事業

（公社）日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<4 年度 実績>

＊獣医学術中部地区学会発表者 8 名

公 3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

（1）狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年 4 月から 6 月を狂犬病予防注射月間として活動しており TV 広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<4 年度 実績>

（注射済票・鑑札交付事業）

注射済票交付枚数：94,145 枚 鑑札交付枚数：7,014 枚

（広告宣伝事業）

TV スポットの実績：未実施。

（2）共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<4 年度 実績>

日 時：令和 5 年 2 月 19 日

形 式：オンラインセミナー

演 題：SFTS とそれを取り巻く環境

講 師：岡林 環樹 先生（宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター副センター長）

参加人数：会員 46 名、非会員 53 名 合計 99 名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬等）利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。
<4 年度 実績>

*助成実施頭数 10 頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業（県民公開講座）

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<4 年度 実績>

*動物愛護・共生委員会（県民公開講座）

日 時：令和 5 年 2 月 12 日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11 階 1101 号室

形 式：会場とオンラインを併用したハイブリッドセミナー

演 題：心臓の悪い子とどう付き合っていくか。～早期発見と日常生活の注意点について～

講 師：千村 収一 先生（日本獣循環器学会監事）

参加人数：会員 44 名、一般 49 名 合計 93 名（会場 20 名、オンライン 73 名）

(2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<4 年度 実績>

*9 月 20 日 動物愛護センター慰霊祭

*9 月 23 日 東山動物園慰霊祭

*11 月 10 日 本会慰霊祭

(3) 動物愛護事業（動物愛護図画コンクールの表彰）

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<4 年度 実績>

*日本獣医師会長賞 1 作品、愛知県獣医師会長賞 1 作品

(4) 動物愛護事業（長寿犬表彰）

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<4 年度 実績>

長寿犬表彰頭数 19 頭

(5) 動物愛護事業（講演会）

日 時：令和 4 年 11 月 6 日

会 場：アイリス愛知 サフラン

演 題：獣医師に関する法律問題～愛玩動物看護師法問題を中心に～

講 師：鈴木 智洋 先生（弁護士・岐阜大学応用生物科学部共同獣医科客員准教授）

参加人数：会員 8 名

(6) 学校動物飼育支援事業（ふれあい教室）

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<4年度 実績>

*ふれあい教室 24校（延べ26回・参加獣医師数 延べ59名）

*飼育相談対応 12校・14回

*モルモットホスティング（小学校19校で実施）

(7) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<4年度 実績>

*実施登録獣医師数：80名

*保護指導数（鳥類：24種・89羽、獣類：3種・3頭）

*関連セミナー

日 時：令和4年12月4日

形 式：ハイブリッドセミナー

演 題：鳥の臨床と麻酔

講 師：伊勢 健一郎 先生（吉塚ペットクリニック院長）

演 題：ウサギの麻酔

講 師：赤羽 良仁 先生（神領ビーイング動物病院院長）

参加人数：会員60名、非会員57名 合計117名

他1 会員に対する相互扶助等事業

(1) 互助・福祉厚生事業

(ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。

(イ) 同好会への助成実績

・9月23日開催 第9回つり大会への助成。

・11月3日開催 第13回ゴルフコンペへの助成。

(ウ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償保険」を契約。

・令和4年度の契約人数は、458名。

(エ) 顧問弁護士契約を継続。

(オ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

(2) 会員の表彰

・中部獣医師会連合会大会会長表彰に11名推薦。

(3) 会員の弔慰

・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。

・病氣見舞及び災害見舞の給付をした。

(4) 獣医療証明様式等頒布事業

・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。

<4年度 頒布実績>

証明書A：829冊・証明書B：35冊・動物医薬品指示書：202冊・出荷制限期間指示書：5冊

狂注済証：168冊・診断書：51冊

(5) 獣医師の倫理向上に関する事業

*臨床部会「綱紀・獣医事委員会」を1回開催し、新入会員研修会について検討した。

（開催日：令和5年1月26日）

*臨床部会「新入会員研修会」を開催。

日 時：令和5年1月29日

会 場：ウインクあいち 1209 号室

演 題：法令、獣医療過誤訴訟、モンスター飼い主への対応を中心に

講 師：鈴木 智洋 先生（弁護士・岐阜大学応用生物科学部共同獣医科客員准教授）

参加人数：臨床部会新入会員：10 名（開業会員：8 名・勤務会員：2 名）

（6）獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について

令和 4 年度事業報告附属明細書

(自：令和 4 年 4 月 1 日 至：令和 5 年 3 月 31 日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）
該当事項はない。

管 理 部 門

1. 会員の状況

区分	令和3年度末 会員数	令和4年度中の異動			令和4年度末 会員数
		入会者数	退会者数	増 減	
会員数	886	24	38	△ 14	872

(なお、賛助会員7団体は含まない。)

<会員数の内訳>

部 会 名	畜 産 部 会	臨 床 部 会	公 衆 衛 生 部 会
部会別会員数	223名	462名	187名

2. 会費未納入状況

(1) 令和4年度 部会別会費未納者状況 (令和5年3月31日現在)

部 会 名	未 納 者 数	金 額
畜 産 部 会	2名	32,000 円
臨 床 部 会	5名	316,000 円
公 衆 衛 生 部 会	3名	48,000 円
合 計	10名	396,000 円

<内 訳>

(なお、公衆衛生部会1名は2年間会費未納)

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合 計	金 額
75,000 円	0名	4名	0名	4名	300,000 円
50,000 円	0名	0名	0名	0名	0 円
16,000 円	2名	1名	3名	6名	96,000 円
6,000 円	0名	0名	0名	0名	0 円

(2) 令和3年度 部会別会費未納者状況 (令和4年3月31日現在)

部 会 名	未 納 者 数	金 額
畜 産 部 会	1名	16,000 円
臨 床 部 会	5名	257,000 円
公 衆 衛 生 部 会	5名	80,000 円
合 計	11名	353,000 円

<内 訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合 計	金 額
75,000 円	0名	3名	0名	3名	225,000 円
50,000 円	0名	0名	0名	0名	0 円
16,000 円	1名	2名	5名	8名	128,000 円
6,000 円	0名	0名	0名	0名	0 円